

平成15年度 決算報告

平成15年度決算が、去る6月9日の平成16年度第1回組合会において可決承認され、監督官庁への届出が済みましましたので、その概要をお知らせします。

1. 健康保険（一般勘定）

一般勘定の決算状況は以下のとおりです。

単位：千円

総収入	12,181,834	経常収入	11,856,721
総支出	9,660,410	経常支出	9,454,265
決算残金	2,521,423	経常収支	2,402,456

本年度は、健康保険法が改正され総報酬制が導入された最初の年度になります。

多くの健康保険組合がそうであったように、横河電機健康保険組合も総報酬制の導入により保険料率を下げた（前年度比△10%）予算編成を行い、総報酬制導入後最初の決算報告になります。

お蔭様で平成15年度の経常収支は黒字で報告できるようになりました。

今後も赤字とならないよう健全運営に努めていきます。

収入

収入総額は、121億8,183万円で、保険料収入（117億6,045万円）が96.5%を占めています。

収入総額は、昨年度比で27.3%増加しています。主な要因としては、下記の3点が挙げられます。

■ 平均標準報酬月額のアップ

平均標準報酬月額は平成14年度と比較して19,449円、予算基礎数値と比べ4万円程度高い結果となった。

■ 臨時賞与等も含め年間に支給された賞与の平均額が高かった賞与については、予算基礎数値と比べ15万円程度高い結果であり、更に、期末には数社で臨時賞与や調整手当が支給された。

■ 被保険者数は、予算の基礎数値と比べ年間平均で323人多い結果であった。

支出

支出総額は、96億6,041万円で、保険給付費と拠出金（86億4,481万円）で89.49%を占めています。

保険給付費の内訳をみると、法定給付費は、前年度比で1%程度の増加であったが、付加給付費は、9%程度増加しています。要因として法改正の影響もあり被保険者の医療費の給付額が減ったためと思われる。

決算残金処分

決算残金の25億2,142万円の処分は以下のようになります事となりました。

準備金への積立 1億5,000万円

別途積立金への積立 23億7,112万円

財政調整事業繰越金 30万円

準備金：健康保険法施行令で定められた基準まで毎年度積み立てる法定準備金。

保険給付費の支払いに不足を生じた際に使用します。

財政調整事業繰越金：決算年度（平成15年度）に収納した調整保険料で、翌年度（平成16年度）に支払いが生じる金額を繰り越す為の処置

平成15年度は、財政の面で影響のある総報酬制の導入と、被保険者と家族の外来・入院時の窓口負担割合の見直しが4月から実施されました。これらの改定と合わせ14年度に実施された内容がどの程度影響があるか予測し難い中でスタートとなりました。

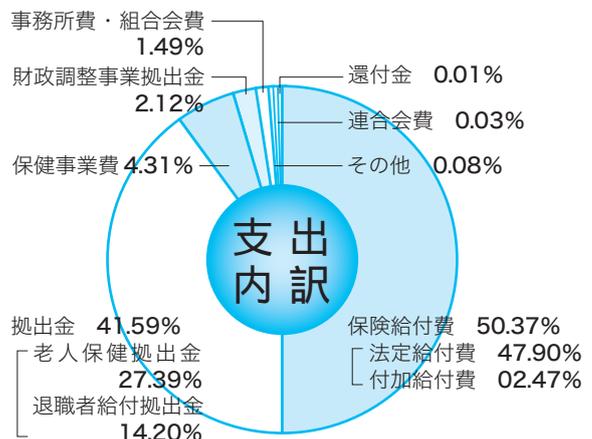
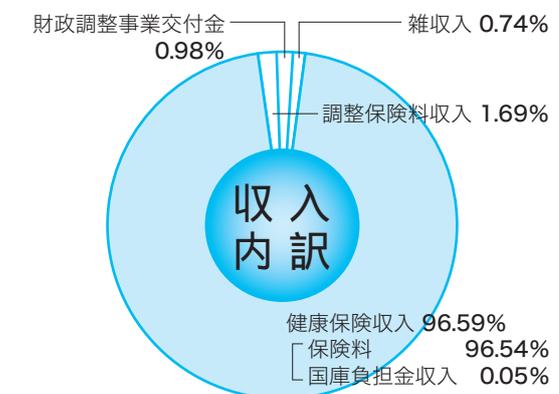
そのようななか、皆さんの健康づくりの面では、厚生労働省の提唱する「健康日本21」運動の「二次予防から一次予防へ」を念頭に、疾病予防対策と健康増進対策を推進するとともに、高齢者の方への訪問相談事業も継続して取り組んできました。健康保険組合として取り組むべきレセプト・柔道整復師療養費の確認事務の徹底や諸経費の削減に努め、かつ直営保養所の閉鎖決定など事業全般の健全な運営を図ることに留意してきました。

結果として、平成15年度決算も黒字となり、無事終了することができました。

これも各事業主および、被保険者・被扶養者、皆様のご協力によるものと感謝しております。

今後も、より厳しい環境のなかでの事業運営にはなりますが、「健康日本21」の健康づくり運動に則り、健康管理や疾病予防等の推進、在宅訪問相談による高齢者の療養・介護指導などを継続的に進めてまいります。また、各事業所への健康支援活動等を行うなかで、健康保険組合の中心的な事業である保健事業の見直しを行い、長期的な視野にたち、効率的かつ効果的な、健全な組合運営に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

収入支出決算の割合をグラフで見ると...



健康保険収入決算

科目	決算額(千円)	内訳(%)	前年度比(%)
健康保険収入	11,766,217	96.59	127.12
保険料	11,760,453	96.54	127.14
国庫負担金収入	5,765	0.05	103.47
調整保険料収入	205,336	1.69	139.80
繰入金	0	0.00	-
国庫補助金収入	0	0.00	-
財政調整事業交付金	119,776	0.98	153.70
雑収入	90,504	0.74	103.23
計	12,181,834	100.00	127.32

健康保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
47	25	72
1000	1000	1000

被保険者数と標準報酬月額

		平成15年度	平成14年度
被保険者数 (人)	男	18,557	17,420
	女	4,419	4,607
	計	22,976	22,027
平均標準報酬月額 (円)	男	490,242	474,027
	女	305,893	289,038
	平均	454,788	435,339

健康保険支出決算

科目	決算額(千円)	内訳(%)	前年度比(%)
事務所費・組合会費	144,072	1.49	100.41
保険給付費	4,865,679	50.37	101.57
法定給付費	4,626,897	47.90	101.21
医療費	4,201,087	43.49	100.51
被保険者	1,783,181	18.46	87.30
被扶養者	2,209,475	22.87	103.39
高額療養費	178,235	1.84	-
高齢者療養給付費	30,196	0.31	-
その他給付	425,810	4.41	108.66
被保険者	241,810	2.50	104.78
被扶養者	184,000	1.90	114.21
付加給付費	238,781	2.47	109.11
被保険者	161,213	1.67	108.03
被扶養者	75,177	0.78	107.99
合算高額療養	2,391	0.02	-
拠出金	4,017,913	41.59	113.61
老人保健拠出金	2,646,175	27.39	108.94
退職者給付拠出金	1,371,738	14.20	123.85
保健事業費	415,912	4.31	91.90
還付金	753	0.01	14.21
財政調整事業拠出金	205,141	2.12	140.65
連合会費	3,031	0.03	104.27
その他	7,909	0.08	56.99
計	9,660,410	100.00	106.26

2. 介護保険(介護勘定)

介護勘定の決算状況は以下のとおりです。

総収入	626,966
総支出	526,484
決算残金	100,482

単位:千円

収入

収入は、事業主および介護保険第2号被保険者と特定保険者のみなさんから介護保険料と、前年度からの繰越金で総収入の99.99%となります。

支出

支出は、国から納付額が決められた介護納付金5億2,643万円が全体の99.99%を占めます。

介護勘定では、事業主及び介護保険の被保険者のみなさんから介護保険料を徴収し、介護納付金として社会保険診療報酬支払基金に納付します。

支払基金に集まった納付金は、介護保険の保険者である各市町村に介護交付金として交付されます。

決算残金処分

今年度の決算残金は、法律に基づく準備金が必要額に達していますが、平成16年度予算に計上した繰越金(6,936万円)を差引いた3,111万円を準備金とします。

介護保険収入決算

科目	決算額(千円)	内訳(%)
介護保険収入	571,647	91.18%
繰越金	55,272	8.81%
雑収入	47	0.01%
計	626,966	100.00%

介護保険支出決算

科目	決算額(千円)	内訳(%)
介護納付金	526,431	99.99%
還付金	53	0.01%
計	526,484	100.00%

介護保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
3.2	3.2	6.4
1000	1000	1000

